

平成30年度いばらきっ子郷土検定問題 解答と解説

潮来市 解説

組	番	氏名
---	---	----

番号	解 説	答
1	潮来市立図書館の駐車場には、潮来市の名誉市民で水彩画家の「小堀進」（こぼりすすむ）の銅像が置かれています。	4
2	「水郷旧家 磯山邸」は、明治時代に建てられ潮来市が管理している日本家屋です。市民や観光客の交流拠点として、潮来祇園祭礼に併せて休憩所として開放したり、ひな飾りや花嫁衣装を展示したりしています。	1
3	「道の駅潮来」では、潮来市で作付けしたお米・夢十色（ゆめといろ）を使って米粉麺（こめこめん）「フォー」を開発し、今年の4月に「道の駅いたこ」において、米粉麺（こめこめん）フォーの販売記念セレモニーが開催されました。	3
4	潮来市では、2020年の東京オリンピックのホストタウンの相手地域として「台湾」と交流をしています。今年の5月にも台湾から中学生と先生が潮来市を訪問し、市内観光施設を視察したり、市内の中学校の体育祭に参加したりと友好を深めています。	4
5	「Wai Waiファンタジア」は、2010年（平成22年）6月に開設されました。国が整備した治水対策の象徴的な前川排水施設の上に、新たな潮来のランドマークとなる噴水施設を潮来市で整備しました。水郷の代表的な生き物であるオス・メス2匹の「コイ」、いたずらな「ナマズ」、手にいっぱい毛をつけた親子の「モクスガニ」のモニュメントがあります。	2
6	潮来市立図書館には、約20万冊の本が蔵書されています。（平成30年3月現在）	1
7	2019年に行われる「いきいき茨城ゆめ国体」で、潮来市で行われる競技は「トライアスロン」・「水泳（オープンウォータースイミング）」と「ボート」の3競技が行われます。	2
8	「いきいき茨城ゆめ国体」500日前を記念して、市内5か所「潮来市役所市民課」「市長公室」「教育委員会」「中央公民館」「潮来市立図書館」に、カウントダウン卓上ボードを設置しました。	2
9	「長勝寺」（ちょうしょうじ）は、1185年（文治元年）に源頼朝公（みなもとよりともこう）（1147年～1199年）が武運長久（ぶうんちようきゆう）を祈願（きがん）して創建（そうけん）したと伝（つた）えられています。	3
10	潮来大使を務める「真中秀幸」（まなかひでゆき）さんは、「イタリア料理」を専門として、東京表参道のイタリアンレストラン「ダ・フィオーレ」のオーナーシェフとして活躍しています。昨年度は、潮来市内の中学校で食育について講演会を行って来ています。	1
11	「道の駅いたこ」にある地元朝採り野菜が評判の新鮮市場「伊太郎」。新鮮で美味しい野菜や畜産物・水産物が売られていて、生産者からの一言メッセージが表示されています。	4
12	潮来市の花に制定されている花は「アヤメ」です。昔から潮来はアヤメで知られてきました。アヤメは、5月から6月にかけて、日当たりの良い水辺や湿地に育成する多年草で、紫色の花が咲き多くの歌や俳句等に使われています。	2
13	大生原台地には、約110基からなる古墳群が存在し、茨城県下で最大の規模を誇っています。	3
14	「茨城大学」は、湖沼（こしょう）に関する研究と教育を行う施設として、1972年（昭和47年）に北浦のほとり（潮来市大生原地区）に広域水圏環境科学教育研究（こういきすいけんかんきょうかがくきょういくけんきゆう）センターを設置しました。	2
15	「潮来あやめちゃん」は、潮来市産のコシヒカリです。粒が大きく甘みと粘りがあり、口に入れた瞬間「ふわ〜っと」くるうまみがあります。茨城県から「特別栽培農作物認証」、生産者全員が「エコファーマー」の認定も受けています。	1
16	潮来市では、2019年の「いきいき茨城ゆめ国体」に向けて、「コキアの種」を無料で配っています。自宅や会社、地区の花壇やプランターなどで育ててもらい、全国からの来訪者を花いっぱいでお迎えして、おもてなししようと市全体で準備を進めています。	4
17	「関戸覚蔵」（せきどかくぞう）は、1844年（天保14年）に潮来村に生まれました。1867年（慶応3年）に潮来村の戸長（こちょう）（村長のこと）となり、土地と税金の問題解決に力を注ぎました。1891年（明治24年）に、新聞の役割の大切さに気づいた覚蔵は、今の「茨城新聞社」をおこし、最初の社長になりました。	4
18	「水郷まちかどギャラリー」は、年間を通して、地域で活躍した画家の作品や市内の小中学生の作品展などを行える展示施設となっています。今年で開館して20周年を迎えます。	2
19	「旧所家住宅」（きゅうところけじゅうたく）は、潮来市日の出地区にある唯一の茨城県指定文化財で、1972年（昭和47年）に茨城県桂村（かづらむら）現在（げんざい）の城里町（しろさとまち）より譲（ゆず）り受けたものです。	3
20	あやめまつり期間中に行われている「嫁入り舟」は、手漕ぎの和舟に乗って花婿のもとへ嫁いだ後、「人力車」に乗って磯山邸まで移動していきます。	1
21	潮来市の水源は、潮来地区も牛堀地区も「北浦」を水源としています。	4
22	「須田誠太郎」（すだせい太郎）は、1881年（明治14年）牛堀に生まれました。当時は、3年に1度しか満足に米が獲れず、水害常襲地帯（すいがいじょうしゅうちたい）であった行方郡（なめがたぐん）を守るため、村（町）長、県議（けんぎ）を務めながら治水事業（ちすいじぎょう）を推進（すいしん）しました。横利根閘門（よことねこうもん）の完成のために尽力（たせい）し（大正7年に完成）、「治水（ちすい）の父」と呼ばれ、その功績（こうせき）をたたえて現在も北利根橋（たもと）に石碑（せきひ）が建てられています。	2
23	2019年に行われる「いきいき茨城ゆめ国体」を潮来市全体で盛り上げていくために、開催競技記念ポロシャツを作製しました。「橙」・「白」・「紺」の3色を基本のカラーとして作成し、潮来市役所職員クールビズのユニフォームとしてだけでなく市民のみなさん、企業・団体の皆さんにも着ていただいています。	3
24	「国神社」（くにがみじんじや）は、1326年（嘉歴（かりやく）元年）大洗磯前神社（おおあらいいそさきじんじや）の御分霊（ごぶんれい）を迎（むか）えて鎮斎（ちんさい）。1395年（応永2年）氏子（うじこ）が雄獅子、雌獅子、中獅子の三体を寄進（きしん）したことから始まり、毎年11月23日の祭事（さいじ）には、笛・太鼓・舞手・天狗・おかめ・ひよっとこから組み立てられている獅子舞（ししまい）が奉納（ほうのう）されています。	4
25	「権現山」（ごんげんやま）は、茨城百景にも選ばれた桜とつつじの名所で、展望台からは北利根川沿いに広がる市街地や霞ヶ浦を一望できます。	3